

法政大学中学校入学式 校長式辞

新入生のみなさん、保護者の皆様、心より歓迎いたします。本日は法政大学総長 廣瀬 克哉(ひろせ かつや)先生にご出席頂いております。PTA 会長佐々木秀雄(ささき ひでお)様はじめ役員会の皆様、同窓会会長 高村嘉昭(たかむら よしあき)を来賓としてお迎えし入学式を挙行できますことに感謝いたします。

子どもは物の見方を変える達人です。なぜそう思うか、在校生が創った詩を紹介してお話します。その詩は国語の授業である修辞法を意識して創ったものです。その修辞法は、見慣れた事柄を非日常的なものとして捉えなおし新鮮さを取り戻す効果があり、ちょっと落ちがあります。ではひとつ紹介します。

雨と雪

空が曇って雨が降り始めると
もやもやする

でも雨が雪に変わると
わくわくする

雪で雪だるまを作っていると
うきうきする

なぜだろう
雨と雪は少し違うだけなのに

いかがでしょう。私は学年全員の詩を味わって、子どもは見方を変える天才だと感心しました。また知識の豊かさにも驚かされます。皆さんがこれまで得た知識に何一つ無駄なものはありません。その知識を使って、子どもの視点だからこそ見える、こと、もの、人を発見してください。

生徒、保護者、教職員の三者で話し合い、すでにあることにとらわれず、新しい形をつくっていきましょう。明日から始まる生活が心ときめくものになりますことを願って、式辞いたします。

2023 年 4 月 7 日
校長 松浦麻紀子